

北小岩江戸川町会 18班



第三回「まちづくりワークショップ」の概要をお伝えします！

第三回「まちづくりワークショップ」を3月4日（日）に行いました。

第三回まちづくりワークショップでは、前回皆様にご検討いただきましたまちづくり検討案をもとに、たたき台としてのまちづくり（案）を作成し提案しました。このまちづくり（案）について、皆様にさまざまな面から評価をしていただき、あわせてもっと良いまちづくり（案）とするため、見直しをしていただきました。

今回のニュースでは、当日の様子をお伝えいたします。

※「まちづくりワークショップ」でご検討いただいた内容は、今後の参考とさせていただきます。

《当日のプログラム》

- ステップ1** はじめに～
沿川まちづくり課長あいさつ
北小岩江戸川町会あいさつ
プログラム紹介
- ステップ2**
前回のワークショップの内容確認
- ステップ3**
まちづくり（案）を説明しました
- ステップ4**
まちづくり（案）を評価して頂きました
- ステップ5**
まちづくり（案）を見直しして頂きました
- ステップ6**
グループごとに話し合っていたいただいた内容を
発表していただきました
- ステップ7**
ワークショップの今後の予定を説明しました

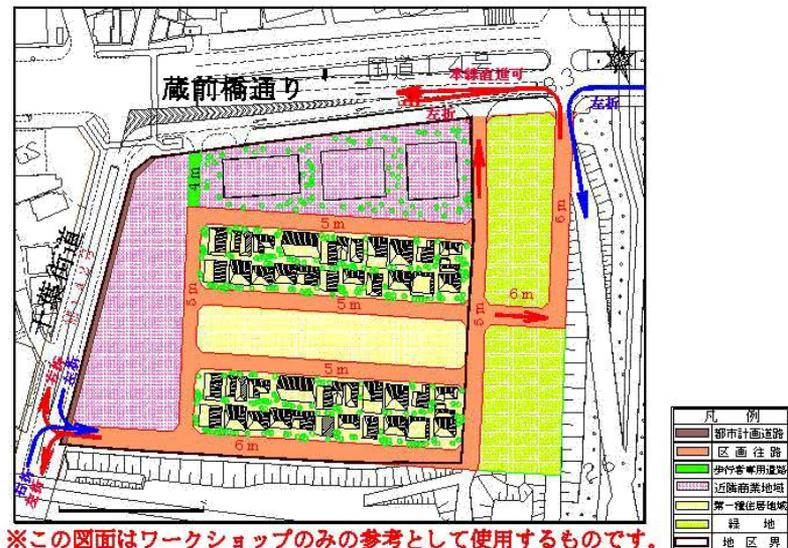
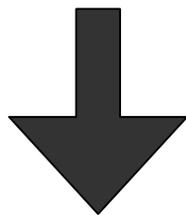
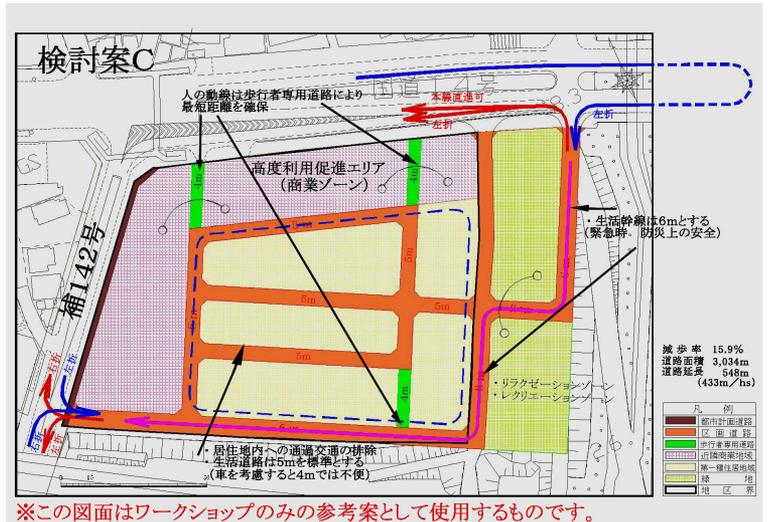
ステップ3

今回提案したまちづくり（案）は、前回のワークショップでお示したまちづくり検討案Cを、次のように改善したものです。

住居系街区を成形に整え、日当たり・通風を確保するため、東西に長い街区としました。生活道路は防災性の向上と使い勝手を良くするため、最低5m幅員としました。

減歩率についても、今まで提示したなかで一番少ない14.5%となっています。

前回のまちづくり検討案C



検討案Cをもとに提案した まちづくり（案）

まちづくり（案）検討の様子



ステップ4

今回提案したまちづくり（案）について、参加者の皆さんに、住環境や安全性など15項目の評価をしていただきました。あわせて15項目のなかから、まちづくりにあたって特に重要だと思う項目を5つ選んでいただき、この項目に関しては点数を倍にして採点をしていただきました。

各自の採点結果を各グループで整理していただいた結果、評価点100点満点で、1グループでは84点、2グループでは68点、3グループでは67点でした。

ステップ5

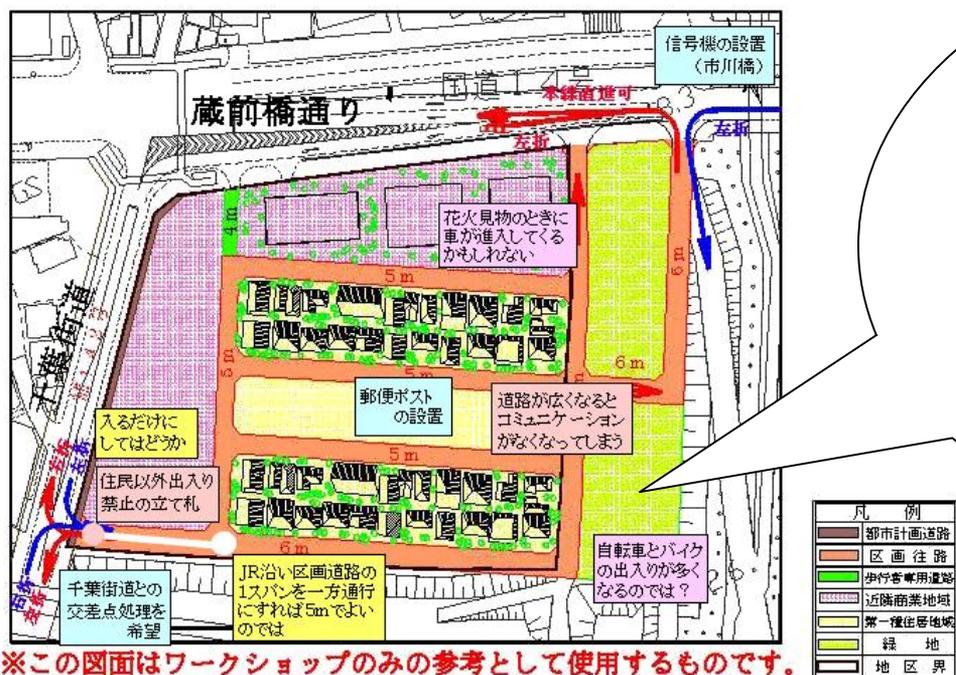
評価したまちづくり（案）について、より良くするためにはどうすればいいか、皆さんに話し合っていました。皆さんがもっとも心配されていることは、道路が整備されることによる区内への通過交通の対策でした。

今回のまちづくり（案）では、区内への出入りをJRガード下の交差点で処理し、その他の道路は区内から出るだけの一方通行とすることによって対応する案としています。加えて皆さんからは、「市川橋のもとへ信号機を設置する」「JR沿いの区画道路の一部分を一方通行にする」等のご意見をいただきました。その他には、「減歩率を下げるために、道路幅員を減らすことはできないか」「日常の使い勝手を良くするために、住居系街区の真ん中に一本道路を通せないか」等のご意見がありました。

まちづくり（案）の採点結果と見直しの発表



まちづくり（案）へのご意見



※この図面はワークショップのみの参考として使用するものです。

参加されたみなさんからのご意見が多かったまちづくりにあたっての重要5項目

- 1) 火災に対する安心感
- 2) 地震に対する安心感
- 3) 静かな住環境
- 4) 日当たりのよさ
- 5) 階段の解消による歩きやすさ

頂いたご意見は、まちづくりを検討する参考にさせていただきます。

ご参加いただいたみなさま、お疲れ様でした。

次のワークショップでは、今回の結果をふまえたまちづくり（案）の模型を作成し、皆様にご覧頂く予定です！

<お問い合わせ先>

えんせん

沿川まちづくり課推進第一係まで TEL 5662-6735

【URL】 http://www.city.edogawa.tokyo.jp/sec_ensen/index.html

